

(様式第3号)

政務活動報告書

会派名（鳥取市議会 開政）

活動事項	京都市資産有効活用市民等提案制度及び学校跡地の活用について
活動年月日	令和7年5月7日（水）
場所	京都府京都市
活動の相手	京都市会
目的・内容 ・結果等	【目的】 先進的な取り組みをしている京都市の施設活用への取り組み方に関する視察調査のため、京都市会への視察を行なった。 【内容】 京都市資産有効活用市民等提案制度及び学校跡地の活用について 【参加者】 加嶋辰史 【結果等】 別紙のとおり
関連する 支出伝票番号	1.2

鳥取市議会 議員

5月7日視察報告 文責:加嶋辰史

合計3名の議員で、京都府の京都市役所と施設を視察した。

＊理由

鳥取市の繁栄に資するため、
先進的な取り組みをしている京都市の施設活用への取り組み方を知るため。

＊経緯

京都市役所の2階より、京都市行財政局 資産イノベーション推進室 資産有効活用課長及び学校跡地活用促進第一課長による、説明を受け、有効活用後の施設を見学した。

＊所感

先ず、京都市では平成24年に活用計画を策定し、取り組むに当たり、保有資産を3つに分類し分析していた。

《継続利用資産、活用方法検討資産、売却資産》

そのうち活用方法検討資産については、調査した資産情報の公開に始まり、市場の需要の調査と情報収集によりマッチングを経てから活用案を策定する流れである。更には、用途追加・転用資産、継続保有資産の2つに細分され、早期の活用を計画した。

また、令和5年2月までに、小中学校を京都市教育委員会は、88校を25校に再編、利活用方法が実行された物を除き、市街中心地に廃校が、存在している。

説明を受けた、実際にマッチングした、施設の運営は民間企業が行う活用事例と今後の提案受付中の物件などを見学した。

最後に、京都駅周辺は、これまでの日本の歴史や発展に大きな意味を持つ空間であり、唯一無二の佇まいである。京都市役所の取り組みは、この古都の維持、発展に大いに貢献している。大手民間企業の経済力が必要なのは確かだが、民間に任せきりであれば、乱開発や住民視点の欠如など、問題も生じかねない。

京都市役所は、粘り強く干渉と折衝を繰り返し、不断の努力で結実した成果を着実に生んでいる。鳥取市は、規模も歴史も地政学も異なるが、条件に類似点は多くあるため、同様の成果を実現するためには大きな手がかりとなった、という期待を胸に帰鳥した。

以上